

染谷秀雄

蝌蚪の群

梅 日 和 布 施 弁 天 の 遠 太 鼓
わづかなる道あり蟻の動かざる
うつすらと途切れ途切れに蟻の道
三人で坐る縁側あたたかし
囲はれしところを外れ名草の芽
春耕の鋤を挿し置く遠筑波
むらさきを残して菊の芽立ちかな
剪定に落ちたる梅の蕾かな
蠢いてゐてしづかなる蝌蚪の群
浮く蝌蚪と沈む蝌蚪ゐる水輪かな